



チャレンジャー
スタッフ・オダ
レディスバイクへの登場はほぼ初めまして。バイク歴約3年のベテランライダー・小田です。ライディングスキルは中の上だと信じてやまないが実際は話者のとおり、費率はカワカキ・バリオス！

これでも私、ガチですから!!

スタッフによるチャレンジ企画!!

第十二回 スズキ・北川ライディングスクール潜入の巻
今回はスズキの電洋コースで行なわれたスズキ・北川ライディングスクールにスタッフ・小田が挑戦! しっかりスキルアップして電洋コースを悠々と走ってやるんだぜ!

この企画は...
「なんとなんパイカに乗っている...」
レディスバイクに乗っている...
レディスバイクに乗っている...
レディスバイクに乗っている...



①よいライディングはよい事前準備からってことで、準備運動は念入りに行いますよー! あー、腕前に効くわー
②インストラクターによるデモンストレーションでは、リターン時の目線から乗車時のフォームまで教えてくれた。これだけ細かく説明してくれたからにはでるぞっちゃん!

スズキ北川圭一ライディングスクール

2年連続ロードレース世界耐久選手権チャンピオンの実績を誇る北川圭一さんによるライディングスクール。危機回避能力の向上をテーマに直進・曲がる・止まるを徹底的にレクチャーしてくれる

③参加者にはスタッフが一が参加され、参加回数によって色が異なる、ゴールは参加回数5回以上で、北川先生が認められた人だけがもらえる名譽の勲章!



電洋コースを走れる人気スクールに潜入!

初習とはいえど夏本番勝負の日差しが降りつける6月末の日曜日。私は生まれて初めてレーシングスーツに袖とおした。まあなんといいですか、キツくて暑い、でもそんなうれしいも鏡越しに自分の姿を確認したら吹き飛んだ。あれ、カッコよくない? 私!。まずはカクチから入るっていうのも大切みたいだ。やる気みなぎってきたぞー。今日はこのライディングスクールでライディングスキルを確実にアップさせて、先輩ライダーに追いつき追い越してやるのが目標

受講生は上下半指定なので、ツナギの人もけっこういます。女性の姿もチラホラ見受けられ、話を聞くとこのスクールに何回か参加したことがあるそう。あれ、私大丈夫か? なんて不安が胸をよぎったけれど、雰囲気もアットホームだし、レベルごとのクラス分けもあるそうだし、まあ何とかなるっしょー! 小田、行きなすー!

8の字

と、ここで事件発生。スラローム、急制動と兼ねながらの8の字とホントにかきこえてきたものの、その字でこまかききれないコンマ秒の差でタイムが伸びた。おわりきれずコース外へー



さうして先生に乗り上げられた...!

徐々にやられていくマイメンタル...

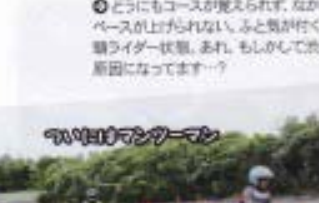


パイロンコース走行

...みんな上手くない?



スラローム、8の字、リターンなどの要素が盛り込まれたジムカーナのようなパイロンコース。いやもうね、みんななんでこんなうまいの? プロですか? 私は見学しているのではありません。コースアウトして、コース復帰のタイミングを間違っているよ(泣)



④どうにもコースが見えられず、なかなかペースが上がられない。ふと気が付くと先頭ライダー状態。あれ、もしかして決着の原因になってますか?



⑤あまりにも悲惨だった(救済)のため、見かねたインストラクターがマンツーマンで指導してくれる始末。目標が大切なのはわかるとは思いますが...

スラローム



教官所で誰かがやったことのあるスラローム。先生のようにはサクサクいけるのだから、結果はごらんとおぼし、パイロンから入らぬこと、1本倒してしまっただけの内情

急制動



加速時は状態を伏せて、減速時は重心を後ろに。こうやって姿勢に変化をつけることで、目線のスムーズさも減速時のアラツキ具合も違うのだ! 北川先生に直接アドバイスをいただくことで、より質が向上します

「はぁあ〜〜〜」。深いため息が止まらない。また午後の部を残しているというのに、私のメンタルは下層の1層をたどっており、8の字ではコースアウトしたうえ、パイロンコースでは何度もコースアウトをし、さらにペースが上がらないので、波瀾の原因にもなっている。ムムムッ、何これ。ライディングスキルは上達するどころか他人様のスキルをやるレベルにまで退化してしまっている。いや、待って、退化したのかそもそも元からうまくなかったのかもしれない。なんてことをもともとと考へながら走っていたところ、インストラクターに話をかけられた。「僕についてきてください。あ、あ、あまりにもヘタクソすぎてマンツーマンレッスンになってしまったじゃないの。」

ここまで読み進めて、「私がそんなスクールに行っても大丈夫なのかしら?」と不安を感じるレディもいることでしょう。心配は無用です。なにせ、一人ひとりに気を配ってくれ、なおかつ私のようまでできそこない、いや、ビギナーにもマンツーマンで丁寧に教えてくれる僕のふか〜いスキルなんです。インストラクター全員が鈴鹿8時間耐久ロードレースなどで活躍したライダーだから、ライディングの知識、技量ともに超一流で、そんなテクニクを目の前で見るのができるっていうだけでも行く価値はある!とここに断言させていただきます。



山口インストラクターによる
交通心理学講座

なんとこちら山口インストラクターは、昔は大学の講師としても活躍するインテリライダーだったのです！ ライダーの心理学講座も開講し、ライダーがなぜ攻撃的な運転をしてしまうのかを心理学的に解説。まずヘルメットの着用で頭蓋骨が上がるかららしい、普段聞くことのないためになる話で、なんか楽しめた気分。



午後から
名譽挽回してやる！

①インストラクター(=講師)はバイクに乗っていないので、さかーと倒された。無事退席していきたくはないので、なんでもかきまわして食べたい。午後で腹が空いて、おなまえっ！

午後からの挽回をねえ！ がんばれ私！

アウトリガーで心折れるも
それでもなにかと収穫アリ

午前あまり上達した感なく終了。みなさん、しつかり生徒個人個人のことまで見ていて、休憩中に何箇所もインストラクターに話をかけていた。だき、アドバイスを受けた。街中ではそこそこバイクを操れていたと感じていただけにこの結果には落ち込んだわよ。でもこれだっって大事なところ、通信はよくないし、慢心につながる。自分の実力を見つめなおすいい機会になっ。(泣)

ダメダメだったけど、休憩中の気持ちの整理がよかったのか、後半中の燃焼(へーという名の燃焼)がよかったのか、午後からは少しずつよくなっていくのを感じた。そらもちろ

午前の反復練習

先生のお手本スラー



②午後イチはバイクコースの反復練習から。インストラクターのデモンストレーションを見て学びます。とにかく目標を先に先にやること！ できていないつもりでも海外でできていないんだな...

ん相変わらずマンツーマンレッスンだけれど、コースからはみ出してしまうことが減った。私からすればめまぐるしい成長よ、コレ！ この調子で最後は電洋コースを魂裏と走れるんじゃない!? なんて調子に乗ろうとすると、新たな問題が...。そこらは写真を見てのとおり。

こうしてドタバタに終わった私のライディングスクール参戦記。でも上昇のきざしを見せたり、何より自分の弱点を目的通りにできた。そして上達への糸口も、たくさん課題ができて、私はまだまだたなななんて痛感させられたけど、スイスイ走る受講生を見てくやしかったのもまた事実。やっぱりカッコよく走れた方がいいに決まってる。よし、またまたうまくなってやるぞ！

③さてさて肝心のワタシはといいますが、相変わらずトロくまはありますがコースをオーバーしてしまいう数が激減！ これは自分のなかではかなりの変化！



④おはいええ、何回もアドバイスもらえばそれなりに進歩はするもので、ホラ！最後の3回目のターンはこれまでよりもずっとバイクに寄りそうことができたんです。誰かほめてくれる

⑤最初のUターン、まさか定場のバイクを軸にターンしているの件と驚くことなけれ、もう慣れちゃった。目標もタンもないこのターン、道幅広くてよかった~



アウトリガーとは？

コケたくてもコケられないのがアウトリガー。表裏に全長が固定することで、フルバンクさせた時に3速でバイクを走らせることができる。フルバンクする感覚をつかむのに一番手っ取り早い方法といえる。だからさっさとフルバンクさせたまえ

アウトリガー



⑥あまりにデキが良かったのでインストラクターの後ろでフルバンクを繰り返すに励まれる。「アリタクナイー」そんな可愛い女の子のつぶやきを聞いてくれる輩などいるはずもなく...

⑦フルバンクってこんなに地道と近いの!? いやもうこれ、コケてますやん！ ひどしきり叫んだ後、なんだか少しやせた気がした。あのせい!

人生で一番バイクが大好きな瞬間



⑧コースでの実習が終わると、控え室に戻って閉会式。最終日、本日ゴールスタッカーをゲットする人たちにスタッカーが手渡された。いりな

⑨続いてジャンケン大会が開催された。バックバックやマッシュ、ジャケットなど豪華景品が並び、豪華景品を手にした人はジャケット代くらいデカくなったのでは?

今後の予定
2016年10月30日(日)、2017年3月5日(日)

参加はスズキの200cc以上のミッション車になります。ただし、各メーカー車に乗ってる方もレンタルバイクを持ちれば参加できますよ~

詳しくは北川第一オフィシャルサイトにて確認を！
⑩http://www.k1-ritagawa.com

高行のメロマンの⑤
実際に参加から最後まで見て、そのときのドキドキ感に行き届いてほしいんよ！とあった。参加料ももちろん無料。いろいろお楽しみが待ってる。おのれだけの楽しみを味わってほしい。おのれだけの楽しみを味わってほしい。おのれだけの楽しみを味わってほしい。

電洋のコースで締め！

最後は今までに数々の名車を生んだ、スズキのナストコースである電洋コースを先導付きで走行。コースも広くて気持ちいい！ タイムもつけているから気分もラク



⑪小田もバンク側は浅めながら走り回りました。豹を走っていた女性ライダーがめちゃくちゃ上手でいくのを後ろで見ながら...